

《各学年の特徴》

- 1年 数に興味をもち、意欲的に取り組む児童が多い。問題を理解する力、計算する力には個人差がある。
- 2年 問題の場面を考え、意欲的に取り組む児童が多い。基本的な計算を正しく行うことができるが、数感覚に個人差がある。
- 3年 巻き尺や物差しを使って測定したり、kmやその他の既習の長さの単位に着目し、適切な長さの表し方や単位関係を考えたりすることが苦手の児童が見られる。
- 4年 問題の場面を考え、数学的な表現処理に意欲的に取り組む児童が多いが、正しい立式や技能の習得に課題がある児童が見られる。
- 5年 問題の場面を捉え、図や表に表して解けるようになってきた。定規やコンパスを使って正しく描いたり、基礎的・基本的な計算をしたりすることが不得手の児童が多い。
- 6年 基礎的・基本的な計算の力に個人差があるが、問題文の場面を捉え、図や表、グラフに表して解くことができる児童が多い。

《全国学力・学習状況調査から見られる指導の重点》

- ・基準となる数を見出し数量の関係を捉えることができるようにする。
- ・用語や表現についての知識を習得することができるようにする。
- ・習得した知識を活用する活動を行き来しながら理解を深められるようにする。

育てたい力（課題）

- 1年 基本的な計算方法を理解して、計算する力
- 2年 時間や長さ、かけ算などを、日常生活で活用できる力
- 3年 問題場面から正しく立式する力、正確に四則計算をする力
- 4年 四則演算を使って正確に計算する力、分度器やコンパスの活用慣れ、図形の特徴をとらえて描ける力
- 5年 課題を適切に捉え、自分なりの解決方法を考えて見通しをもって解く力
- 6年 既習の学習を生かし、新しい計算の仕方や問題の解き方を考え、表現する力

☆授業改善の具体策☆

- ・習熟度別少人数指導の効果的な実施
- ・個に応じた指導の充実
- ・東京ベーシックドリルの活用
- ・モジュール指導の有効活用
- ・既習事項の掲示
- ・既習事項を活用する授業展開
- ・ノート指導の充実
- ・データの活用
- ・ドリル、プリントによる繰り返し学習
- ・ICT機器の活用(スクールタクト、コラボノートEX、eボード)

《知識及び技能》

- 1年 正しくたし算やひき算ができるようにするために、具体物の操作を取り入れる。
- 2年 時間や長さ、かけ算九九、筆算等の基本的な知識や技能を身に付けるために、繰り返し練習する時間を設定する。
- 3年 整数の加減法や四則計算の技能の定着のために、習熟度別で細やかに指導する。
- 4年 正確に計算する力を身に付けるために、習熟度別少人数指導を充実させ、各単元において基本的な計算練習を取り入れる。また、図形の性質の理解を確実にするために、コンパスでの作図練習をする時間を設定する。
- 5年 小数・分数の計算や、表やグラフに表したりすることなどの技能を身に付けるために、習熟度別少人数指導を充実させる。
- 6年 既習事項を生かすために、基礎基本の習熟を徹底する。小学校算数のまとめとして、習熟度別少人数指導で全学年の内容を練習する時間を設定する。

《思考力・判断力・表現力等》

- 1年 絵や図に表したり、具体物を操作したりする活動を通して、考える場面を多く取り入れる。
- 2年 図や絵、式、言葉等を用いて考え、説明する活動を多く取り入れる。
- 3年 問題の場面を具体的に想像しやすくするために、具体物や図などを用いる。
- 4年 目的に合った表現方法を用いて考察するために、数の表し方や数量関係に着目するような指導をする。図形の性質について考察するために、これまでに学習してきた図形の性質を振り返ったり、具体物を提示したりする。
- 5年 目的に合った表現方法を用いて考察するために、数の表し方や計算の意味に着目させる。解決方法を考えて、見通しをもって解くために、伝え合い活動を通し、お互いの考えを共有する。
- 6年 数学的な見方・考え方を働かせながら考えを伝え合うことや、数学的に表現することのよさを確認する。既習事項を振り返る活動を取り入れる。

《学びに向かう力》

- 1年 問題に繰り返し取り組む活動を取り入れ、学習したことを生活や今後の学習に生かせるようにする。
- 2年 多様な考えのよさを見付け合う活動を多く取り入れ、学習したことを生活や今後の学習に生かせるようにする。
- 3年 数学的な表現処理のよさに気付き、学習したことを生活や学習に生かせるよう、既習事項を活用する授業を展開する。
- 4年 数学的な表現処理のよさに気付き、学習したことを生活や学習に生かせるよう、既習事項を活用した授業を展開する。
- 5年 数学的な表現処理のよさに気付き、多面的に捉え検討して、よりよいものを考えられるように授業を展開する。
- 6年 数学的な表現処理をしたことを振り返り、多面的に捉え検討し、よりよい問題解決ができる授業を展開する。